



うちのイチ押し!

大阪市

こどもカーニバル2024

自由
入場

市内の青少年団体などの協力を得て、全市のこどもたちが家族や友だちと楽しく遊べるこども同士の交流の場として、わくわくドキドキの楽しい催しを行います!

- セレモニー広場…こどもたちによる鼓笛隊やブラスバンド等の演奏などが行われます
- わんぱくひろば…スタンプラリー、ゲーム、ストラップ工作など
- 模擬店コーナー…フランクフルト、フライドポテト、ジュースなど
- 遊び体験コーナー ● ロードトレインコーナー ● ミニオリンピック ほか

※当日、ペットボトルキャップの回収ブースを設置します。
ワクチンの寄付等に活用しますので、皆様のご支援をお願いします。

日時 **4月21日(日) 10:00~15:00**

場所 大阪城公園 太陽の広場、野球場 (JR「大阪城公園」、Osaka Metro「大阪ビジネスパーク」)

対象 どなたでも 費用 入場無料 (コーナーにより一部有料)

※雨天中止 (小雨決行)

お問い合わせ

大阪市総合コールセンター (年中無休・8~21時)
電話: 4301-7285 FAX: 6373-3302

大阪市こどもカーニバルとは

市内の青少年団体などの協力を得て、こどもたちの健やかな成長を願い、昭和54(1979)年から開催しています。こどもたちによる演奏や開会宣言、大型のこいのぼりの掲揚など、こどもたちが主役となって活躍し、工作、ゲームなど、こどもたちが家族や友だちと楽しく参加できる多彩な催しで、一日中笑顔と歓声があふれるカーニバルです。



こどもカーニバル会場



主催: 大阪市 実施主体: 大阪市子ども会育成連合協議会



おおさか

歴史探訪

188

大阪の史跡や歴史資料を毎月連続でご紹介します。

イタセンパラ発見の地

大阪市にも天然記念物の生息地があるのをご存じでしょうか。淀川左岸に広がる旭区城北ワンド※にはイタセンパラという魚がすんでいます。

イタセンパラは日本の固有種で、コイ科のタナゴの仲間です。その名前は「板のように平たい体形で、色鮮やかな腹部をもつ魚」という意味で、漢字では板鮮腹いたせんぱらと書きます。オスは秋に青や紫、桃色などの美しい婚姻色を見せます。メスは二枚貝に産卵し、仔魚は二枚貝の中でふ化して越冬します。

イタセンパラは昭和初期まで琵琶湖淀川水系と濃尾平野、富山平野の3か所に数多く生息していましたが、河川の改修や水質汚濁などで激減し、絶滅の危機に瀕しました。しかし、1969年秋と1971年春に都島区の赤川地区のワンドで高校生らによって再発見され、1974年に魚類として初めて国の天然記念物に指定されました。今年はその記念すべき50周年の年にあたります。発見を機に調査や保護活動などが進められますが、生息地の減少や消滅、外来生物の侵入、密猟などの影響もあり、2005年を最後に淀川では確認されなくなりました。現在では養殖した淀川産の個体が城北ワンドなどに放流され、行政や研究機関・市民団体らによる環境保全活動が行われています。2017年には旭区の「区の魚」に制定されました。

イタセンパラは日本の水辺の自然の象徴であり、生態系豊かな淀川の「シンボルフィッシュ」とされています。私たちにとって自然を尊重し、保護することの大切さを教えてくれる存在です。イタセンパラが再発見された淀川の河川敷には「天然記念物イタセンパラ発見の地」の石碑が建てられています。(大阪市教育委員会事務局 文化財保護課)

※ワンドとは、川岸にあって、淀川本流とつながっているか、水が増えたときにつながってしまうような場所のことです。



(都島区大東町3丁目 淀川河川公園)